分野	科目名	配当年次	開講期
専門分野	回復期における看護	2年次	前期

単位数	時間	担当教員	実務経験の有無
1単位 (15時間)	16時間	外山　　忍	有

授業の概要	回復期にある成人の特徴を踏まえた上で、日常生活動作の拡大と社会復帰に向けて、回復過程にある人と家族に必要な看護について学ぶ。
到達目標	1．回復期にある人と家族の特徴を理解する。 2．回復期看護で用いられる理論・モデル、機能障害のアセスメントについて理解する。 3．健康障害からの回復過程にある人と家族に必要な看護を理解する。

授業計画

№.	授業内容	授業方法	備考
1	回復期とは、回復期にある人と家族の特徴	講義	
2	回復期看護で用いられる理論・モデル（自己概念・障害受容過程）機能障害のアセスメント（ICF・ADL）	〃	
3	回復過程にある脳神経疾患の看護①　　脳梗塞 脳梗塞の症状と生活への影響	〃	
4	回復過程にある脳神経疾患の看護②　　脳梗塞 自立した生活の再構築を目指す看護	〃	
5	回復過程にある脳神経疾患の看護③　　脳梗塞 麻痺患者の寝衣交換・車椅子移乗の演習	演習	
6	回復過程にある運動器疾患の看護①　　脊髄損傷 脊髄損傷の症状と生活への影響	講義	
7	回復過程にある運動器疾患の看護②　　脊髄損傷 障害を受容し社会復帰を目指す看護	〃	
8	回復過程にある運動器疾患の看護③　　変形性膝関節症 膝に負担をかけない日常生活行動の獲得を目指す看護	〃	

評価	筆記試験100点
参考文献	1）小松浩子他　　系統看護学講座　成人看護学①成人看護学総論　医学書院．2018 2）井出隆文他　　系統看護学講座　成人看護学⑦脳・神経　医学書院．2019 3）田中栄他　　系統看護学講座　成人看護学⑩運動器　医学書院．2019 4）武田宜子他　　系統看護学講座別巻　リハビリテーション看護　医学書院．2015
備考	